

平成30年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	高津区第1グループ(上作延・高津)	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H29		H30		H29		H30		
	1 上作延こども文化センター ①年間延べ利用者数	37,387人	37,688人	②年間延べ利用団体数	420団体	415団体			
2 上作延小学校わくわくプラザ ①登録者数	334人	336人	②年間延べ利用者数	24,638人	25,852人				
3 南原小学校わくわくプラザ ①登録者数	127人	119人	②年間延べ利用者数	8,578人	9,935人				
1 高津こども文化センター ①年間延べ利用者数	51,843人	49,736人	②年間延べ利用団体数	162団体	176団体				
2 高津小学校わくわくプラザ ①登録者数	524人	547人	②年間延べ利用者数	41,504人	41,843人				
3 下作延小学校わくわくプラザ ①登録者数	201人	219人	②年間延べ利用者数	16,189人	19,543人				
3 久地小学校わくわくプラザ ①登録者数	470人	430人	②年間延べ利用者数	24,902人	27,662人				
収支実績	単位:円								
1 収入									
指定管理料	127,053,534								
2 支出									
人件費	105,767,245								
管理費	7,692,213								
事務経費	6,308,409								
その他経費	7,080,689								
合計	126,848,556								
3 差引	204,978								
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
	(評価の理由)				
	・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・グループ合同事業として、乳幼児を対象とした新たな事業である「乳幼児とのふれあい交流会」を開催した。地域の高校のほか、新たに大学と連携して協力を得ることで、乳幼児親子と児童や学生との多世代交流が促進された。 ・上作延こども文化センターでは、乳幼児親子行事「シャッターチャンス」を行い、壁面工作を乳幼児の母親の協力を得て作成し、また撮影ブースを複数設置し撮影が順序良く行えるようにするなど事業の工夫を行い、撮影会を通じて乳幼児親子の交流を行った。 ・こうした取り組みの結果、乳幼児の利用者数が昨年より約340人増加した。 ・その他の取組として、高津こども文化センターでは、「高津こども文化センターまつり」の開催にあたり、町内会の回覧板によるチラシを使った周知を行うなど地域住民への認知を高める工夫を行うことで、昨年よりも大幅に参加者が増加し、約940名にて実施した。				
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	3	6
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	4	4	
	(評価の理由)				
	・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努めたほか、苦情等への対応も適切に行われている。特に、高津こども文化センターでは、「つぶやきノート」に書かれた保護者からの要望を受け、授乳室にパーテーションを購入して使い勝手を良くするなど、利用者ニーズに応じた柔軟な対応がなされている。 ・特別な配慮を要する児童への対応については、「特別な支援を必要とする児童への対応研修」の内容について講師と調整する中で、実際にわくわくプラザの様子を確認してもらうことで、個別の具体的事例に基づいた研修を実施し、研修成果としてイラストの指示カードを作成するなどの対応を行ったことで、児童の処遇向上が図られた。 ・学校及び行政機関との連携については、各わくわくプラザでは、近隣の保育所や少年野球チームと連携した交流会や野球教室を行うなど、地域の団体等と連携した取組がされている。 ・施設・事業の広報については、ホームページやおたより等、多様な媒体を組み合わせた積極的な広報を行っている。また、乳幼児向けたよりや中高生たより等、対象年齢を捉えた広報を行っている。特に、行事ごとに作成したチラシを、利用者の協力も得ながら、対象年齢を意識してデザインを工夫して作成・配布することで個々の行事への参加の促進に繋がっている。 ・運営協議会の実施について、運営協議会が設置され、事業計画どおり開催されている。 ・保護者懇談会について、懇談会が事業計画どおり開催され、保護者の要望を把握している。特に、下作延わくわくプラザでは、出欠票に意見を記入する欄を設けることで欠席者にも意見を出してもらうなど、より多くの保護者の意見を吸い上げる工夫を行い、長期休業期間中の昼食会に手づくりおやつを取り入れるなど、保護者意見を取り入れて事業を充実させた。				

組織管理 体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 ・職員の研修体制については、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧できる等、共有化の仕組み作りができています。さらに、高津小わくわくプラザでは、アレルギーに関する研修の内容を踏まえて、イラスト入りでわかりやすいアレルギー対応マニュアルを独自に作成して業務に取り入れることで、職員の資質の向上と児童の処遇改善が図られた。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はありません。 					
適正な業務 実施	施設・設備の 保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全 確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策 及び 災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。 ・利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行っている。全職員に普通救命講習を受講させ市民救命士の資格を取得させるとともに、AEDを使えるように定期的な実習訓練を行うなど、職員の資質向上や意識づけが行われている。また、館長会議で配布された事故の事例を館内でも共有するとともに、実際の事故を基にした事例検討を各館で定期的に行っている。 ・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。 					
収支計画・ 実績	適切な金銭 管理・会計 手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
		「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。			
	効率的・効果 的な支出	効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。	5	3	3
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内20グループのこども文化センター及びわくわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。

各館においても、「つぶやきノート」や、保護者懇談会の出欠票における意見欄など、利用者のニーズや意見を吸い上げる創意工夫を行い、事業に反映させることで、積極的に運営・事業の改善を図っている。また、上作延こども文化センター管轄わくわくプラザでは、特別な配慮を要する児童への対応について、個々の児童の特性に応じた研修を実施して職員の資質向上と児童の処遇改善を行うなど、良質なサービスを提供している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもの顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にこって、居心地のよい場となるよう努めること。